

2020 年 10 月 9 日
株式会社電通パブリックリレーションズ

電通 PR が「2020 アジア・パシフィック SABRE アワード」5 部門で受賞 ～ライオンのキャンペーンが世界トップ 40 となるグローバル SABRE 受賞～

株式会社電通パブリックリレーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：牧口征弘、以下、電通 PR）は、PR 業界の国際的な情報プロバイダーである PRovoke Media（旧：The Holmes Group）が主催する「2020 アジア・パシフィック SABRE アワード」において、株式会社電通（以下、電通）と共に取り組んだ三つのキャンペーンで五つの賞（ダイヤモンド SABRE 1、ゴールド SABRE 3、IN2 SABRE 1）を受賞しました。

今回受賞したキャンペーンは、ライオン株式会社（以下、ライオン）の「Saving Laundry from Zombie Odors」、株式会社西武ライオンズ（以下、西武ライオンズ）の「“SAVE LIONS” Project by Seibu Lions」、NGO/NPO 気候ネットワーク・Climate Action Network Japan（以下、気候ネットワーク・CAN-Japan）の「Connecting KIDS」です。

なおライオンのキャンペーンは、全エントリーの中から選ばれる PLATINUM SABRE AWARD FOR BEST IN SHOW のファイナリストに残り、全エントリー中第 4 位に選ばれました。さらに、世界各地で開催されたリージョナルの SABRE アワードから選ばれた 40 作品だけに贈られる「グローバル SABRE」も受賞しました。10 月 21 日に行われる「2020 グローバル SABRE アワード」授賞式にて、トップ 40 の順位が発表されます。

2008 年に始まった「アジア・パシフィック SABRE アワード」は、アジア太平洋地域で最多のエントリー数のある PR の業界賞です。2020 年は約 1,000 件のエントリーがあり、エントリーされたキャンペーンは当社常務執行役員、国田智子を含むアジア太平洋地域の企業、エージェンシーから選ばれた 62 人の審査員によって審査されました。また「グローバル SABRE アワード」は、約 5,500 件のエントリーの中からトップ 40 が選定されました。



受賞カテゴリーは以下の通りです。

2020 グローバル SABRE アワード		
賞	クライアント/キャンペーンタイトル	
グローバル SABRE トップ 40※	ライオン 「Saving Laundry from Zombie Odors」	
2020 アジア・パシフィック SABRE アワード		
部門	賞	クライアント/キャンペーンタイトル
Research and Planning 部門	ダイヤモンド SABRE	ライオン 「Saving Laundry from Zombie Odors」
Japan 部門	ゴールド SABRE	
Home & Furniture 部門	ゴールド SABRE	
Entertainment 部門	ゴールド SABRE	西武ライオンズ 「“SAVE LIONS” Project by Seibu Lions」
ADVERTISING - BROADCAST, DIGITAL, OR PRINT 部門	IN2 SABRE	気候ネットワーク・CAN-Japan 「Connecting KIDS」

※トップ40の順位は、10月21日のグローバルSABREアワード授賞式にて発表。

<受賞キャンペーン概要> ※クライアント名 50 音順

■Connecting KIDS (和名：コネクティング キッズ)

クライアント名：気候ネットワーク・CAN-Japan

エントリー会社：電通、電通 PR

設立から 20 年を迎える日本の NGO である気候ネットワークは、これまでの活動の集大成について検討する際、世界中に多くの環境 NPO / NGO が存在する一方で、それぞれ独自の（時には対立する）課題に取り組んでいることを指摘。組織間のより積極的なコラボレーションを促進するために、若い世代の活動家たちのメッセージを集約するプラットフォームを作り上げるキャンペーン「Teenage Voice 2019」を立ち上げた。キャンペーンの核になるものは、若者のメッセージを集めたモノクロの OOH ポスター。バーコードを読み取ることでオンライン署名ができる仕組みになっている。このキャンペーンは 1 週間で世界各国から 30,000 の署名を集めるとともに、約 9,000 万インプレッションを達成、主要環境団体であるグリーンピースやコンサベーション・インターナショナルなどの推奨コメントを獲得した。また、この取り組みは、デモの少ない日本において、東京、大阪、京都、名古屋などで、2,800 人を越える Global Climate Strike (グローバル気候マーチ) の実行にも影響を与えた。



■“SAVE LIONS” Project by Seibu Lions（和名：埼玉西武ライオンズ×英国オックスフォード大学「SAVE LIONS（セイブライオンズ）～消えゆく野生のライオンを救うプロジェクト～」）

クライアント名：株式会社西武ライオンズ

エントリー会社：電通、電通 PR

2019 年に球団創設から 70 年を迎えた西武ライオンズの球団シンボルである「ライオン」は今、絶滅の危機にひんしている。直近 20 年で半減、100 年前と比べると 8 割も減少し、現在世界に生息しているのは約 2 万頭のみ。このままのペースで減少を続けると、球団創設 100 周年を迎える頃には、球団のシンボルである「ライオン」が地球上から消えてしまう。そのような背景から、これからは「ライオンズ」がその名をとどろかせ、成長していけるように「ライオンズを“応援”することが、ライオン“保全”にもなる」、そんなソーシャルアクション「SAVE LIONS～消えゆく野生のライオンを救うプロジェクト～」の実施が決定。ホームラン 1 本ごとに 1 万円を寄付する活動を昨シーズンからスタートした。また、プロジェクトを世界的に広げ、1 頭でも多くのライオンを救うべく、長年ライオン保全活動に取り組み、世界的な権威と豊富なネットワークを持つ英国オックスフォード大学と連携し、国内外にアプローチ。さらに、より多くの企業/団体がプロジェクトパートナーとして参画できるよう、本プロジェクトの名称やロゴなどのリソースを自由に使用することができる仕組みも構築。その結果、国内外の民間企業 10 社に加え、欧州/アジア/アフリカの「ライオンズ」と冠するスポーツチームに「ライオン保全活動」の輪が拡大した。



■Saving Laundry from Zombie Odors（和名：洗っても蘇るイヤなニオイ「ゾンビ臭」をやっつけろ！『トップ クリアリキッド抗菌』）

クライアント名：ライオン株式会社

エントリー会社：電通、電通 PR

ライオンは液体洗剤のシェア拡大を狙い、洗濯物の 3 大ニオイ悩み（部屋干し臭・干し忘れ臭・戻り生乾き臭）に有効な「トップ クリアリキッド抗菌」を開発。しかし、洗剤市場とニオイ悩みはコモディティ化しており、この商品の優位性を理解してもらうのが難しかった。そこで同社は、洗濯物の 3 大ニオイ悩みの共通点「洗っても蘇ってしまうこと」、そして、新たに研究で判明した「ニオイ移りしやすい」というデータから、三つのニオイを「ゾンビ臭」と新たな呼称で呼ぶこととし、洗濯物のニオイ悩みについて生活者に議論してもらうことを狙っ



た。「ゾンビ臭」への関心喚起と、ライオンと「トップ クリアリキッド抗菌」のイメージのひも付きを課題に、企業資産を活用した世間での話題化を図るコンテンツ作りと、複数社のKOLを巻き込み理解促進を図る科学的根拠のある情報提供を、オンライン・オフラインで多角的に展開。ニオイに対しての関心が1年で最も増える梅雨を狙った本取り組みは、「あのニオイってゾンビ臭だったのね！ あるある！」と、特に洗濯したにもかかわらず蘇るニオイを、家族から指摘された経験のある生活者から支持された。TVCM 出稿がない中でソーシャルメディアを中心に話題になり、その反響はテレビ11番組で紹介されるなど、「ゾンビ臭」の概念が世の中に流通した。その結果、「トップ クリアリキッド抗菌」はゾンビ臭対策の代表商品となり、液体洗剤市場のライオンのシェア拡大に成功した。

アジア・パシフィックSABREアワードについて

SABRE（セーバー、Superior Achievement in Branding, Reputation and Engagementの略）とは「ブランディング、レピュテーション、エンゲージメントにおける優れた業績」を意味します。ダイヤモンドSABREは、企業、CEO、レピュテーションマネジメントなど6部門、ゴールドSABREは地域、ターゲット、プラクティス領域などの部門における受賞者に贈られる賞です。また、同時開催されるIN2（Insight and Innovation）SABREとは、「インサイトとイノベーション」にフォーカスした賞で、コンテンツクリエイションにおける優れた業績を賞するものです。「アジア・パシフィックSABREアワード」で受賞したキャンペーンは、その後、南北アメリカ、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域で開催される各地域のSABREアワードで受賞したキャンペーンと合わせて再度評価され、「グローバルSABREアワード」の受賞者が選ばれます。

株式会社電通パブリックリレーションズ

電通PRは1961年の創立以来、国内外の企業・政府・自治体・団体の戦略パートナーとして、レピュテーション・マネジメントをサポートしています。総勢300人の社員が、データ分析、そしてそこから得られたインサイトに基づくコンテンツ開発と最適な情報流通デザインを通して、クライアントと共にソーシャルイノベーションへの貢献を目指しています。2015年には、日本国内で最も優れたPR会社に贈られる「ジャパン・コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を、2018年には、「北アジアPRコンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」をThe Holmes Reportから授与されています。また、2019年には国際PR協会から「ゴールデン・ワールド・アワーズ・フォー・エクセレンス」でグランプリを授与されました。